

富山福祉短期大学活動報告

◆活動取組みの紹介

本学のボランティアセンターでは学生ボランティアコーディネーター（通称ボラコ）が中心となり、学生たちへのボランティアの案内や調査などをしています。R6年度は4月に鰻絵と下條川千本桜まつりのボランティアへの参加をスタートに、ミャンマーとウクライナへの寄附活動、射水市心身障害者連合会とリハビリのレクリエーション、MOA美術館射水児童作品展、子育てフェスティバル in いみず、能登半島地震の支援の一環としての募金活動等の様々なボランティア活動を行いました。また、本学の学生のボランティアの意識調査等も実施しました。



◆活動していてやりがいや喜びを感じる時

笑顔が見られた時、感謝の言葉を頂いた時にやりがいを強く感じます。活動中は「ありがとう」という言葉をよく言われます。自分が参加し、関わる事でその方の役に立っているのかもしれない、ということがボランティア活動に参加する意欲に繋がっています。また、ボランティア活動内容は多岐に渡っているため、様々な活動に参加する中で、考え方が変化したり、視野が広がったと思います。ボランティア活動は自身の成長に良い刺激を与えてくれたと感じました。

◆最後にひとこと

私たちボラコは、様々な場所でのボランティア活動を通して、やりがいや喜びを感じ、経験に繋がっています。また、多くの方と関わる機会が持っていることに嬉しく思います。ボランティアは、楽しいと思えることが大事だと思っています。なので、ボランティアが楽しいと思って貰えるように、また参加したいと思って貰えるように活動していきたいです。今後は、外部とも協力しながら、ボラコの活動の幅を広げていきたいです。